

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女とも、特に握力や20mシャトルランなど、大きな力を出す能力や運動を持続する能力が優れている。
- 男女とも、立ち幅跳びのすばやく動き出す能力である瞬発力に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・友達との交流を通して、動きのポイントや技のコツ等を知ることができる学び合う活動の設定
- ・できるようになったことを自覚する自己評価や振り返り活動の設定
- ・スポコン広場を活用した長縄記録会の実施

②改善を図る点

- ・体育の授業の中で、児童が主体的に練習に取り組むことができるような場づくりを行う。
- ・体育の授業の中で、タブレットを活用し、自分の動きを評価する機会を設定する。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・日常的に運動することへの意識を向上できるようにするため、体力アップシートを活用し定期的に評価を行う。
- ・朝食摂取率を高めたり、睡眠時間を長く確保したりするため、家庭への呼びかけと子どもたちへの指導を行う。
- ・今までと同様、休み時間には職員も一緒に体を動かすことを継続する。